

中心部の活性化、農家の販路拡大…

## 地域課題解決策 甲南大生が提案

加古川

甲南大(神戸市東灘区)の学生が加古川市内の活性化や課題解決などについて考える「加古川『知』を結ぶプロジェクト」の成果報告会が、加古川市役所であった。

は、同市内の企業視察などを行い、子育て世帯の働き方を調査。理想の働き方、環境に近づけるためのアイデアを提案した。

マネジメント創造学部の金坂ゼミは、地域食材を活用した料理の販売と、農家の販路拡大に向けた提案を発表。同大の学園祭に地元食材を使った屋台の出店や、オンラインサイトを活



加古川市の様々な課題解決策に取り組んだ成果を発表する甲南大生ら。加古川市役所

経営学部望月ゼミの学生用する案を打ち出した。

は、街の中心部の活性化をテーマとした。寺家町商店街で月に1回催される「かわのまちマーケット」にスポットを当て、調査で判明した魅力や課題を紹介。他市町と比較しながら、既存の公共空間の活用などについて説明した。

審査の結果、最優秀賞には望月ゼミのチームが選ばれた。同ゼミの田中瑚麦さん(19)は「調査結果をまとめるのは大変だったが、街や住民を通じ、加古川の魅力を知ることができたと振り返った。

(宮崎真彦)